

入セザルト歎願書提出ニ方法微温的ナリトシテ寧ロ冷突シ居ル存存ナルヲ以テ之レニ懲後スルガ如キニトナキモノト信セラルルカ組合自身ノ要求ニ関シテハ相与注意ヲ要スルモノナリ目下行動内偵中

要 求 案

- 一 公傷扶助料ハ從來日給ノ半額ナルモ全額支給スルニト
- 二 六月一日ノ會社記念日ハ日給ヲ支給シ酒肴料ヲ現金ニテ支給スルニト
- 三 五月一日メーデーヲ公休トスルニト
- 四 日曜日臨時出場ニ對シテハ日給ノ十割ヲ支給スルニト 残業ハ六時迄トシ其上残業ノ

場合ハ臨時出場ト合孫十割増ノニト  
五 退職手当増額ノ件

會社ノ規程ニ各十日分先増給スルヲ規定

會社ノ都合ニテ解雇スル場合

- 三年以上勤続 日給三十日分
- 五年以上勤続 六十日分
- 八年以上 百廿日分
- 十年以上 百五十日分

以上勤続一年ヲ増ス毎二十日分ヲ加フ

自己ノ都合ニテ退職スル場合

會社ノ都合ニテ解雇スル片ノ各半額ヲ支給ス